

製品名: IAP2 (5S6) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe12324**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:500,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	68kDa

抗原情報

遺伝子名	BIRC3
別名	AIP1; API2; BIRC3; CIAP2; HAIP1; IAP homolog C ;RNF49; MIHC; MALT2; Apoptosis inhibitor 2;IAP2;
遺伝子 ID	330.0
SwissProt ID	Q13489
免疫原	ヒト cIAP2 の合成ペプチド

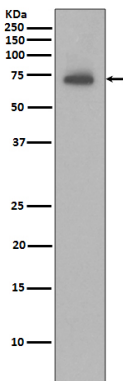
背景

アポトーシス抑制因子。BIRモチーフ領域はTNF受容体関連因子1および2 (TRAF1およびTRAF2)と相互作用してヘテロ多量体複合体を形成し、これが腫瘍壊死因子受容体2 (TNFR2)にリクルートされます。カスパーゼとアポトーシスを制御するだけでなく、炎症シグナル伝達と免疫、ミトジェンキナーゼシグナル伝達と細胞増殖、そして細胞浸潤と転移も調節する多機能タンパク質です。NF- κ Bシグナル伝達を制御するE3ユビキチン-タンパク質リガーゼとして機能し、正反対の方向に作用することで、標準および非標準NF- κ Bシグナル伝達の両方を制御します。つまり、標準経路の正の調節因子として機能し、非標準NF- κ Bシグナル伝達の恒常的な活性化を抑制します。E3ユビキチン-タンパク質リガーゼ活性の標的タンパク質は、RIPK1、RIPK2、RIPK3、RIPK4、CASP3、CASP7、CASP8、IKBKE、TRAF1、BCL10です。Toll様受容体 (TLR)、Nod様受容体 (NLR)、およびRIG-I様受容体 (RLR) (総称してパターン認識受容体 (PRR))の制御を介して、自然免疫シグナル伝達の重要な調節因子として機能します。リポソームは、カスパーゼ依存のおよび非依存的に癌細胞を殺傷する能力を持つ、巨大な多タンパク質複合体です。RIPK1およびCASP8をユビキチン化することで、リポソームの形成を抑制します。

研究分野

細胞生物学

画像データ



Ramos 細胞溶解物中の IAP2 発現のウェスタン プロット分析。